

611) 逆流性食道炎

我輩は数年前から逆流性食道炎を患っている。食道と胃の間にある筋肉が弱って、食事の際に飲み込んだ空気がゲップとなって噴出したり、胃の中で消化する際に発酵したガスが、排ガスとして屁になる副作用を伴うことが多い。放っておいてもたいした害はないが、消化剤を服用することで症状を緩和させることも可能である。年をとると多かれ少なかれ、この症状が発症し、不快な思いもすることも多いらしい。

先日さる公衆トイレに行くと小生より幾分若い御仁が、ほぼ一緒に入り込んだが、他には誰もいなかった。共に排尿することとなり便器の前に並んだ後、この御仁、放尿するなり、いきなりとんでもない轟音とともに「屁」をこき出した。ウーム、お主も逆流性食道炎かと思いつつ、我輩も轟音を一発かましてやるかと思って、思い切り力むとイケネー、屁よりも奥の「内容物」がちょっぴり噴出しちまった。これはまずった！立小便から便座の方にガリ股で静々と歩きつつ、こちらにもご厄介になったという次第である。とかく下手な争いは災いの元でありました。